

櫻

けやき

小牧幼稚園 園だより 第380号 2023年1月
教育目標「神を敬い 人を愛し 平和を作り出す子どもを」
年主題「つながって」～今、わたしを生きる～
年聖句「主がすべての災いを遠ざけて あなたを見守り
あなたの魂を見守ってくださるように。あなたの出で立つのも
帰るのも 主が見守ってくださるように。今も、そしてとこしえに。」

詩編121：7-8

2023年もすでに1か月経とうとしています。みどり組の部屋では金槌の音が鳴り響きます。この音は年度の終わりを知らせる音でもあります。終わる準備があれば、始まる準備もあります。みどり組の家庭では、小学校からの案内が届き、親子で4月へ向け親子それぞれの希望・想いがつのって来ているのではないのでしょうか。楽しみと、不安が交互に来ているのかもしれない。幼稚園でも、来年度の準備が始まっていて、特に新入園児を迎えるため色々な用意をしています。来年度の入園児は、申し込みが一杯になり、入園をお断りし心苦しんでいます。昔から、多くは変わることなく小牧幼稚園は運営してきました。県内では7番目に古い歴史があり、教育内容では古いままの部分も残っていて、卒園生が子どもを入園させる理由、また祖父母が孫を入園させる理由は、よく知った幼稚園と言うことで、歴史が安心感につながるの知れません。

教育は本来、時世により変化するものではないと考えていますが、この数年、幼稚園が、保育園化への流れがあり、県内でも、3分の1の幼稚園が「認定こども園」になり多くの園が、乳幼児から入園させることが出来る園に変わりつつあり、働く先生たちも乳幼児から5歳児までのことを考え、園全体を見ていかなければならなくなり、私は、先生の負担が増えているのでは、と心配しています。逆に園全体を見なくても、持ち場だけを考えればよいなら、先生同士の縦・横のつながりが少なくなり、園の方針・考えかたが浸透しなくなり、建学の精神が失われ、私立幼稚園の存亡の危機になるかもしれません。また、小規模保育園が増え保育室狭く、園庭が少ないため、この寒空の日に、朝早くから散歩に行く姿を多く見かけ、これも心配です。国の偉い方が、劇的に子育て支援を変えると言われますが、末端は、こんな様子で、各地の幼稚園・保育園では、メディアにより多くの不安状況が伝えられます。子どもの気持ち、子育てする親の気持ちが忘れられ、預けなければいけない親が、安心して預けるところが少なく、あきらめの気持ちをもって預けることになると、親の子育てに対する、夢・希望・育つことの喜びが薄れていくことが心配です。

新年に当たり、心配なことばかりお伝えしていますが、共に手を携えて、子どもと親と私どもと歩いて行ける年にしたいと思います。今年は、今のところ、コロナ過の中で、中止していた、新中学生の同窓会を行う予定です。今年の卒園生の「6年後」も楽しみにしています。

2・3月給食メニュー

2月	2日(木)	豚汁 ゆかりご飯	果物
	3日(金)	ハヤシライス	果物
	7日(火)	ワッフル 鶏の唐揚げ	果物
	9日(木)	ミートソーススパゲティ	果物
	10日(金)	すき焼きご飯	果物
	14日(火)	デニシュパン	ソーセージ 果物
	16日(木)	五目御飯	果物
	17日(金)	半日保育	給食休み
	21日(火)	クロワッサン	手作りコロッケ 果物
	24日(木)	《振替休日》	
	28日(火)	デニシュパン	ソーセージ 果物
3月	2日(木)	味噌煮込みうどん	果物
	3日(金)	ちらし寿司	果物
	7日(火)	ワッフル 鶏の唐揚げ	果物
	9日(木)	ビビンバ	果物
	10日(金)	カレーライス	果物
	14日(火)	半日保育	
	16日(木)	けんちゃん丼	果物
	17日(金)	中華飯	果物

☆食材によりメニューが変わることも有ります。

☆愛知県経常費補助金のお知らせ

愛知県は極めて厳しい財政状況の中で、県下の幼稚園に対して多額の補助金を交付され、私学助成の充実に力を注いでいます。この補助金は、幼稚園の人件費・消耗品等・教育に必要な経常費的経費に補助されるもので、次の3点が目的になります。①教育条件の維持向上、②父母負担の軽減、③経営の安定化です。小牧幼稚園は、令和4年度は、令和5年1月現在、28,441,000円(園児一人当たり225,722円)の補助を受け、前記の3項目に対して効果が見られ来年度も、入園料・授業料共に今年度のままでも、安定した運営が見込まれそうです。

また、小牧幼稚園は特別支援教育にも力を注いでいるため、特別支援教育のための補助も頂いています。

☆園だより2月号は、「造形まつり」号になります。